



# 親ががんに なったとき 子どもと どう向き合い、 どう支えるか

講演 1

親ががんになった時、  
なぜ子どもに伝えるのか？  
そしてどう伝えるのか？ (通訳あり)

Sue P. Heiney (サウスカロライナ大学看護学教授)

講演 2

家族の立場で体験したこと  
大江真由美 (薬剤師)

対象：一般向け 参加費：無料

定員：200名 (応募多数の場合は抽選とさせていただきます)

◎お申込み方法

9月20日(金)までに往復はがき(1名につき1通)に、  
郵便番号・住所・電話番号・氏名(ふりがなも)・年齢・ご職業を記載し、  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9階  
SCORE-G事務局 市民講座係 までお送り下さい。

詳しくは、WEBサイト

「がんの痛みネット <http://www.itaminai.net/>」でもご覧になれます

◎お問い合わせ先

SCORE-G事務局 TEL: 03-6267-4550 FAX: 03-6267-4555

[主催] 一般社団法人がんの痛みと症状緩和に関する多施設共同臨床研究会 (SCORE-G)

[共催] 東京都福祉保健局

厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業 小澤班

文部科学省 JSPS 科研費 25282227 的場班



[日時]

2013年10月14日  
(月・祝日)

13:00 ~ 15:30  
(開場12:00)

[会場]

聖路加看護大学  
アリスホール